

## シニアネットワーク東北 平成 28 年度活動計画

2014年4月に内閣は「第4次エネルギー基本計画」を決定し、2015年7月16日に経済産業省は「長期エネルギー需給見通し」を提示した。原子力はエネルギー需給構造の安定性に寄与する重要なベースロード電源と位置づけ、2030年の電源構成で原子力発電が20～22%、再生可能エネルギーが22～24%とした。原子力は2011年3月の東日本大震災前の約3割から大きく引き下がった。

「長期エネルギー需給見通し」策定の基本方針は安全性（Safety）を前提とした上で、エネルギーの安定供給（Energy Security）を第一とし、経済効率性（Economic Efficiency）の向上による低コストのエネルギー供給を実現し、同時に環境への適合（Environment）を図るとしている。

安全性は世界最高水準と称する規制基準を導入したが、安定供給に関しては原子炉停止によりエネルギー自給率が6%まで下がり、OECD34カ国中2番目に低い危機的な状況が5年間も続き、原子炉停止や再エネFITにより経営環境の悪化と電気料金の上昇が産業競争力を低下させ経済成長の足を引いている。現在も再稼働の審査は遅々として進まず、断層問題や地方裁判所の疑問視される判決、マスコミのネガティブな報道など温室効果ガス削減の切り札である健全な原子力の利用を阻害している。

シニアネットワーク東北は、地域社会および家庭内のオピニオンリーダーとなる学生および地域の方々との対話活動を重ねて、わが国のエネルギー問題、放射線に対する啓蒙のための活動を行ってきており、今後ともこの活動を継続、強化する方針である。このため、SNW東北は国の施策、自治体の動向、住民意識も勘案しながら今後の対話活動について計画を練り、次の実施項目を基本に東北エネルギー懇談会および原子力学会シニアネットワーク連絡会と連携して計画する。

1. 定期総会 平成 28 年 6 月 9 日(木)開催
  2. 対話活動  
東北電力新入社員との対話 5月26日(木)実施  
大学、高専、一般市民などと対話（対話先との調整により適宜開催）
  3. 拡大幹事会  
原則毎月第4月曜日開催
  4. SNW連絡会運営委員会  
定例・臨時会議への参加
  5. 会員勉強会  
前年同様適宜実施
  6. 各種講演会、シンポジウム、見学会等への参加  
前年同様適宜参加
  7. 提言活動・PR活動  
HP・インターネット等の活用  
ネット会員の募集と情報の提供  
日本原燃のエコセミナー（放射線基礎講座、エネルギー講座）等に講師派遣
- 以上